

ジエン鉄錯体の 3 位アニオンにおけるカルボニルの転位反応 The Carbonyl Migration Reaction of Using Diene Iron Complexes

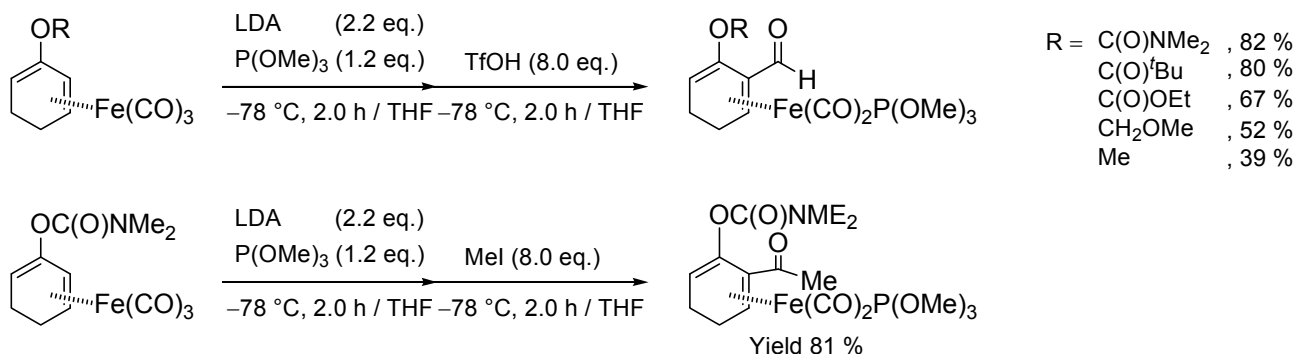
菅原陽子、岡内辰夫 (九工大)

Yoko Sugahara, Tastuo Okauchi

(Department of Materials Science, Faculty of Engineering, Kyushu Institute of Technology)

ジエン - 鉄錯体は有機合成にしばしば用いられるが、ジエン部位を反応点とした報告例は少ない。最近演者らは、ビス(ジメチルアミノ)ホスフェート基を有するジエン - 鉄錯体に対し、リン存在下、LDA を作用させることで、鉄上のカルボニルが 3 位に転位するカルボニル挿入反応を見出している。このカルボニル挿入反応は、前例がなく、且つジエン - 鉄錯体のジエン部位へ選択的に置換基の導入が可能という反応性から非常に興味深い。そこで、この反応の一般性を高めるために様々な官能基を用いてカルボニル挿入反応の検討を行った。

本発表では、一般的な官能基を有するジエン - 鉄錯体を用いたカルボニル挿入反応に成功したので、トリフルオロメタンスルホン酸の代わりに求電子剤を用いた置換基の導入と併せて報告する。



発表者紹介

氏名 菅原 陽子 (すがはら ようこ)

所属 九州工業大学大学院 工学府 物質工学専攻

学年 M2

研究室 有機合成化学 I

岡内研究室

E-mail h347719y@tobata.isc.kyutech.ac.jp

